



様式

学校評価報告書

学校名 深谷市立川本南小学校

校長名 田 辺 鉄 章



1 学校評価のねらい (学校としての受け止め)

学校教育目標、学校経営方針、具体策とその取組、児童の変容や掲げた目標等に対する評価をいただくとともに、教育環境等に対して広く意見を求め、学校がその意見を真摯に受け止め改善策を講じることで、児童をよりよく成長させることをねらいとする。

2 評価の方法 (自己評価・学校関係者評価・第三者評価の別、回数、方法等)

(1) 自己評価

①児童評価 : 全児童、年間2回、1学期末・2学期末、質問紙(無記名)

②保護者評価 : 全保護者、年間2回、1学期末・2学期末、質問紙(無記名)

③学校自己評価 : 全教職員、年間2回、1学期末・2学期末、質問紙(無記名)

(2) 学校関係者評価

実施方法 : 15名、年間1回、2月、質問紙(無記名)

評価者 : 自治会代表、民生児童委員、学校応援団代表、学校運営協議会委員、PTA本部役員、PTA顧問

(3) 第三者評価 実施していない。

3 評価の結果

(1) 主な指標の変化(前期 → 後期)

①児童評価

・「川本南小学校が好きです。」 → 95.0% → 97.1%

・「進んで学習や運動に取り組んでいます。」 → 91.0% → 94.1%

・「授業は、楽しくてわかりやすいです。」 → 91.5% → 93.6%

・「ありがとうございます。」 → 95.0% → 97.1%

②保護者評価

・「子どもは学校が好きと言っている。」 → 95.0% → 96.5%

・「校舎内外がきれいに清掃され気持ちの良い環境」 → 97.5% → 98.6%

・「学校だよりやHPでわかりやすく伝えている」 → 97.5% → 98.0%

- ・「教育活動を保護者や地域に積極的に公開」 → 97.5% → 99.0%

③学校自己評価

- ・1学期末実施より2学期末実施では、設問77項目中24項目でアップ、10ポイント以上ダウンしたのは0項目で、前期評価結果の課題を分析し、改善に向けて組織的な取り組みができたことがポイントアップにつながったと考える。

④学校関係者評価

- ・7つの設問中全てにおいて、昨年度の評価同様に良好な結果となった。
- ・「地域との連携」については、「そう思う」の割合が95%から100%となった。

(2) 目標の実現状況 (指標との関連)

- ・前期学校自己評価において、課題となる点については全教職員で分析して改善策を示した。後期学校自己評価では「あたりまえのことがあたりまえにできる児童育成」6.7ポイントアップして100%、「学校研究課題の取組状況」7.1ポイントアップして100%、「学級の児童に学力が定着したか」15.4ポイントアップして100%と大きくポイントがアップした。また、研修において「教師自身の向上はあったか」17.6ポイントアップして100%となっており、教職員がベクトルをそろえ、組織的な取組ができたことが評価からうかがえる。
- ・「学校が好き」と答えている割合は、児童・保護者ともに95%を超えた。
- ・「授業が分かりやすい」と答えている割合は、児童・保護者ともに90%を超えた。「情報の公開」については、ホームページの充実により保護者からは、ほぼ100%に近い評価をいただいたが、学校関係者評価では83.3%となっており、地域の学校として、さらなる開かれた学校づくりを推進するとともに、相互方向の連携を一層工夫していきたい。

4 次年度に向けての展望

- ・『学力向上』を引き続き最重点課題とし、マネージメントサイクルに則り、着実に指導を積み上げ、確かな学力を育成する。特に日々の授業の質の向上を図るために、教師の指導力向上へ向け、研修に力を入れたい。
- ・地域行事への教職員の参加は、地域の学校としての信頼関係をより強固なものにする事ができた。今後もより自然な形で参加できるように意識を高めていきたい。
- ・学校評価の実効性をより高めることにより、学校運営の改善に積極的に活かし、より一層教育水準の向上を図る。
- ・学校関係者評価を来年度は1回から2回にして実施したい。